

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和3年1月22日(金) PM 7:00 ~ PM 8:05
会	場	南中山公民館
出席議員		片粕 正二郎、小形 善信、大久保 恵子、川崎 俊之、加藤 吉則、橋本 弥登志、清水 一徳、三田村 輝士(議長)
参加者(市民)		26名(男性:24名、女性:2名)
司会・開会挨拶・ 説明者・記録係・報告者	司会・挨拶	橋本 弥登志
	第1部説明者	川崎 俊之
	記録係	清水 一徳 ・ 大久保 恵子
	報告責任者	清水 一徳
【1部】議員による説明 「市の財政について」 「北陸新幹線について」		意見:数字を並べ立てても、額が大きすぎてピンとこない。何を言わんとしているのかもととかみ砕いての説明がない。 回答:今回の語る会のテーマの一つに、市自治連合会からの要請で市の財政を、とのことだったため、資料を添えて説明したが、もっとかみ砕いて説明すべきであった点は謝罪したい。時間の制限もあるため、今後、広報や、要請があれば機会を設けて説明したい。
【2部】意見交換会		Q:コロナ禍でイベントもなく、人の集まる機会がない中で、ハード面では市のガイドラインにのっとってやっているが、ソフト面で苦労している。また、南越駅周辺整備の件で、一年延期になって考える時間ができたが、どのような考えでやっていくのか。 A:各地区においては、自粛で我慢して耐えている状態であることは重々承知している。今後コロナが終息した後、どの様にするかが大事なところで、人と人との繋がりが深まるような地域支援を、市民のご意見も参考に議会としても知恵を絞っていきたい。南越駅周辺整備については、駅前の駐車場や道の駅は工事にかかっており、国道8号と挟む100ヘクタールのゾーンの開発については、それぞれのゾーンにテーマをもって開発を進めていくが、知事も大阪までの開通を見極めながら協力していくとのことである。地元地権者の方々の理解と協力を得ながら、よりよい地域となるよう努めていきたい。 Q:南越駅周辺については、隣接する市町と、議員同士、行政同士、首長同士でそれぞれ連携し、大阪まで開通の20年~30年先の大きなビジョンで構想を練ってほしい。 A:まさしくそのとおりで、越前市だけでなく2市3町が連携し、ゾーンに対してもそれぞれの良いところをここに集めるとか、議員も職員も首長も協議をしながら進めていくべきだと考えている。 Q:コロナ対策で様々な政策を実施されていると思うが、それぞれの実施した成果

	<p>と課題というものはどうなっているか。</p> <p>A: 最終的な総括は年度が終わっていないので難しいが、今まで取り組んできた中で、まさしく今、中間総括をするときであろうと考えている。令和2年度どういう取組だったか、現状を分析して市民の生の声を聞いて、新年度に向けてどういう取組をしたらいいか、この3月議会で議論すべきであり、努力する。</p> <p>Q: コロナの助成金について、期限が区切られているのは何故か。</p> <p>A: 行政は年度予算なので期限を切りながら事業を進めている。対象者が決まっている子育て支援や、ひとり親支援などは、期限を決めてその期間内に助成できるように対応している。また、コロナに負けない支援事業も、期限を決めているが、必要に応じて補正予算により増額して、期間を延ばし対応しているので、ご理解いただきたい。</p> <p>Q: 今年は、市長選挙があると思うが、議会主導により、鯖江市長選のように公開討論会を開催し、政策論争をさせてほしい。</p> <p>A: 政策論争を市民の面前ですることは、大変良いことだと思うが、公職選挙法に、議員が公開討論会に携わってはいけないと、明記されている。選挙に中立の状態の方々、例えば青年会議所や商工会議所青年部といった民間有志の方々に、開催していただくのが望ましい。</p>
その他	

令和 3年2月9日

越前市議会議長 様

第3班 班長 橋本 弥登志